



2022年6月期(第74期)

決算説明

2022年8月25日

代表取締役社長 宮本 彰

株式会社キングジム

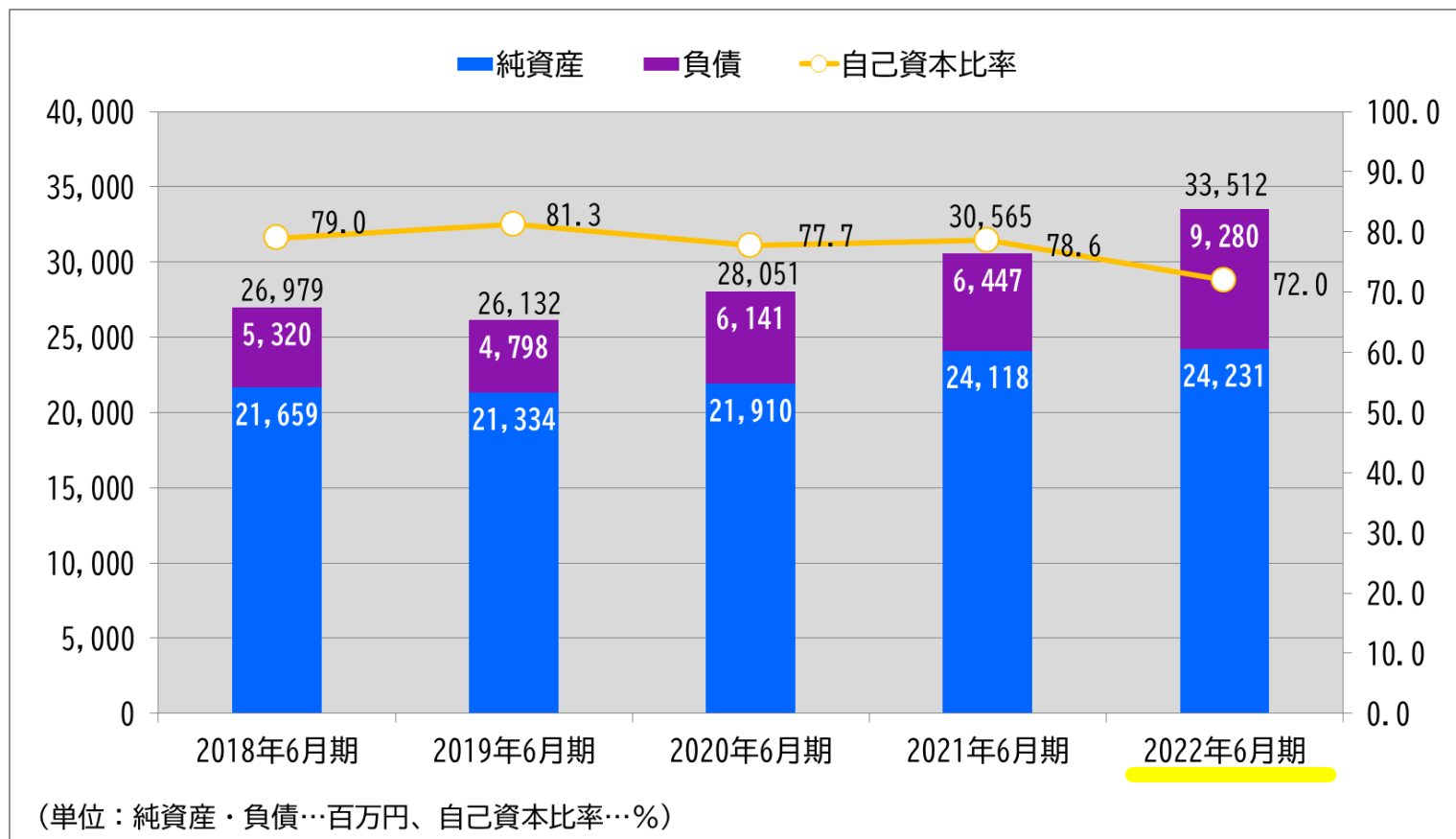
■ 損益計算書概要

(単位：百万円)

	2021年6月期	2022年6月期	前年同期差額		
売上高	36,319	36,636	+317		0.9%増
営業利益	2,416	1,007	-1,409		58.3%減
経常利益	2,755	1,338	-1,416		51.4%減
当期純利益	1,963	788	-1,174		59.8%減

増収減益

■ B/Sおよび自己資本比率推移



総資産：

前期比で約29億円の増加



自己資本比率：

72.0%に低下



2021年11月ライフオンプロダツを全株式取得により
子会社化

のれんの増加、借入金の増加

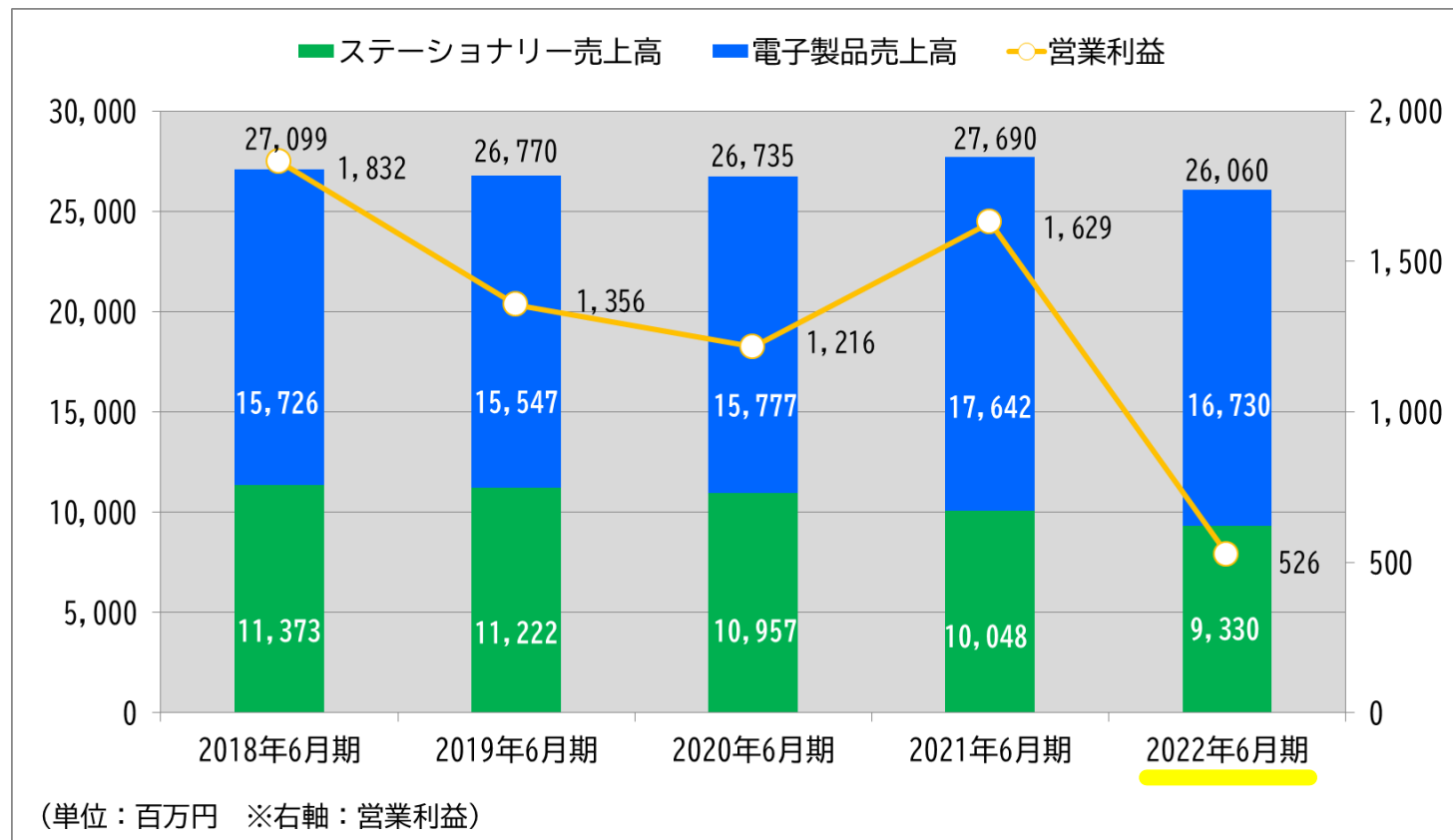
■ 連結キャッシュフロー推移

(単位：百万円)

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,518	1,323	1,989	3,108	-1,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	-487	-504	-1,357	-492	-3,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	-1,574	-900	456	-1,382	3,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-17	-46	74	254
現金及び現金同等物の増減額	-541	-98	1,042	1,308	-1,395
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	—	314	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,466	4,368	5,410	7,032	5,637

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フロー … 棚卸資産の増加、法人税等の支払
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フロー … 子会社株式の取得による支出
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フロー … 子会社株式の取得のための借入

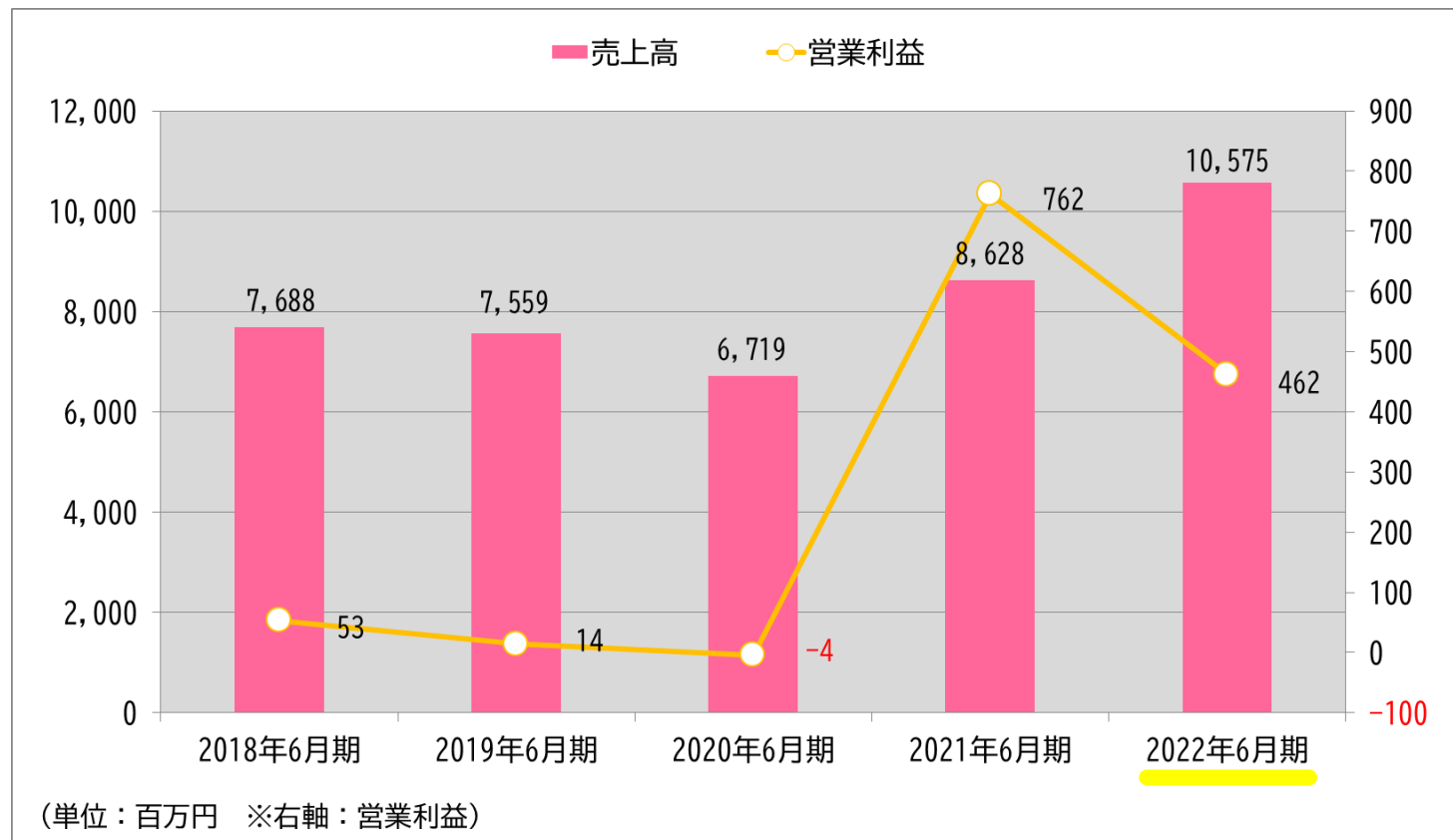
セグメント別売上・営業利益推移 <文具事務用品事業>



売上高：半導体不足に伴う「テプラ」の品切れや、生産国のロックダウンによるファイルの品切れの影響を受けて減収

営業利益：急激な円安や原材料価格・物流費の高騰により減益

■ セグメント別売上・営業利益推移 <インテリアライフスタイル事業>



売上高：前期好調であったぼん家具の反動減があった一方、ラドンナ、アスカ商会の増収、ライフオンプロダクツの半期分の売上寄与を受けて増収 

営業利益：急激な円安や仕入価格の上昇、ライフオンプロダクツ株式取得費用の計上などにより減益 

■ 半導体不足による影響

全世界的に半導体供給が逼迫 当社製品にも大きな影響

・ 電子製品の主力商品：「テプラ」

仕様変更や代替品等による対応を行うも品切れ
⇒機会損失が発生



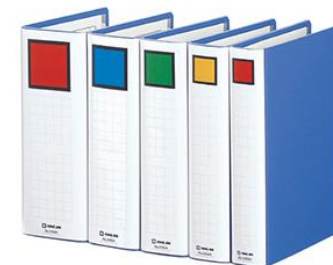
・ 新製品開発

仕様変更やスケジュールの見直しが発生



■ 新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響

- ・ステーションナリーの主力商品：厚型ファイル



生産工場のあるベトナム・マレーシアにおけるロックダウン

★ ロックダウン中、外出禁止に…



現地従業員の皆様のご理解とご協力を得て、泊まり込みの交代勤務体制を実施

⇒ 需要期において
品切れが発生



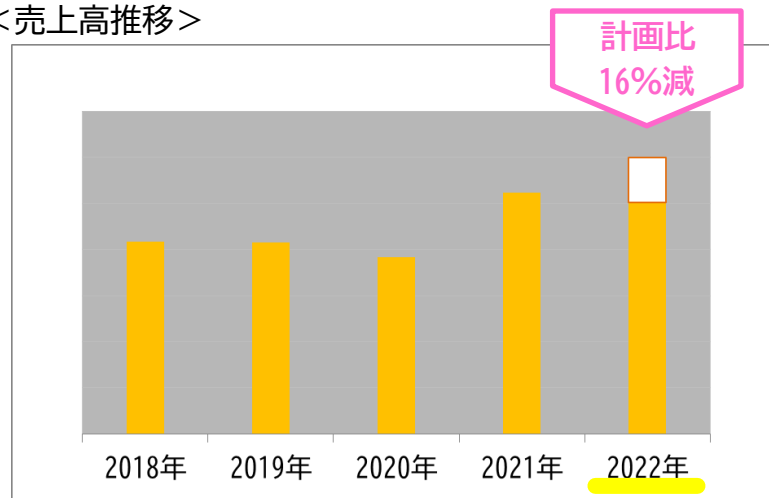
■ 巣ごもり需要の反動

・ ぼん家具

好調であった前期と比較し、
巣ごもり需要の反動減の影響を受けて減収
 売上計画に大幅未達



<売上高推移>

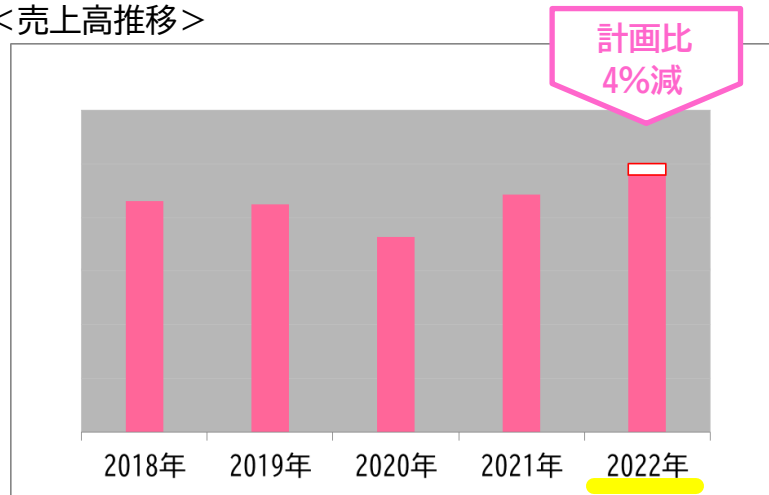


・ ラドンナ

前期売上は上回ったものの、
季節商材（ハンディファン・加湿器）、
アロマ、リラクゼーション商材の不振により
 売上計画に届かず



<売上高推移>

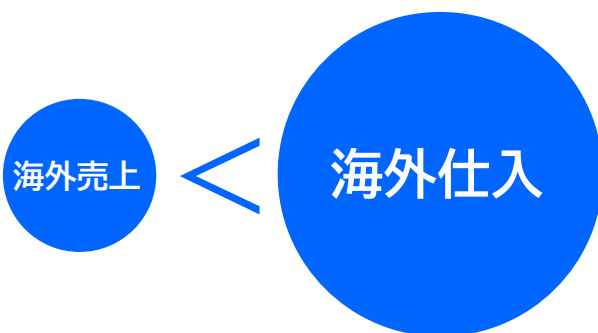




■ 為替・原材料の高騰による影響

(1) 為替の影響

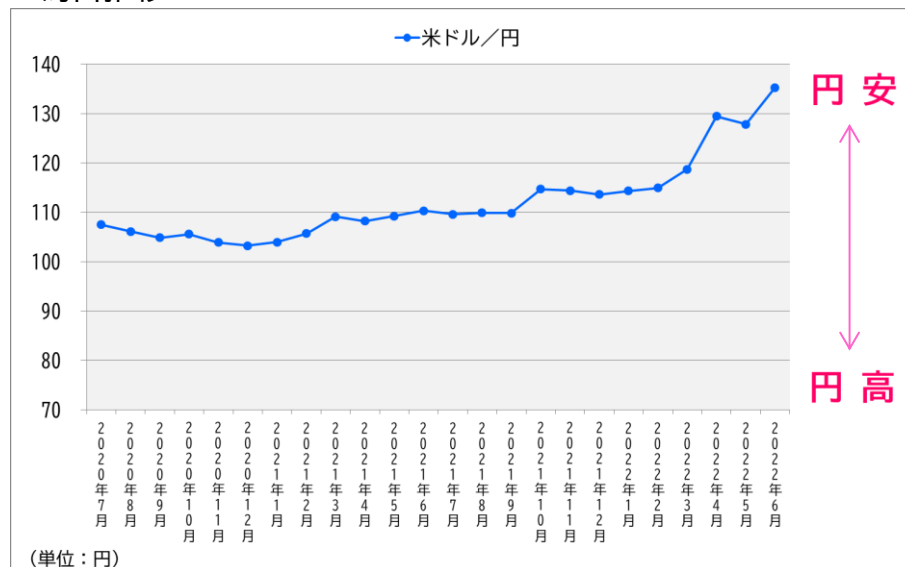
当社グループは、
円安＝利益減の影響を受ける



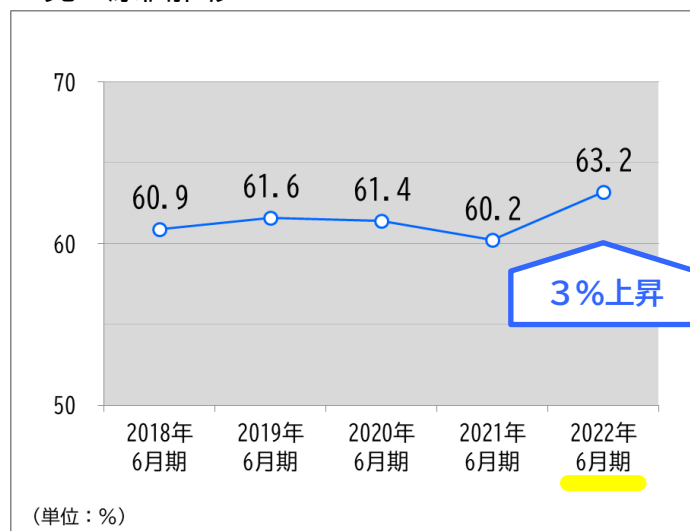
(2) 原材料の高騰による影響

主力商品の原材料（P P・鋼材）の
高騰

<為替推移>



<売上原価推移>



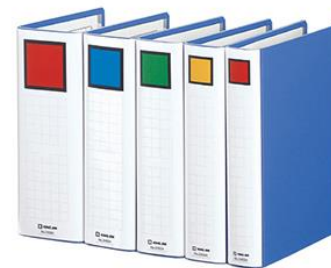
■ 半導体不足による影響

- ・ 一部商品については、半導体不足の影響は徐々に改善
- ・ 引き続き、対応策を模索するとともに、半導体市場の動向を注視



■ 新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響

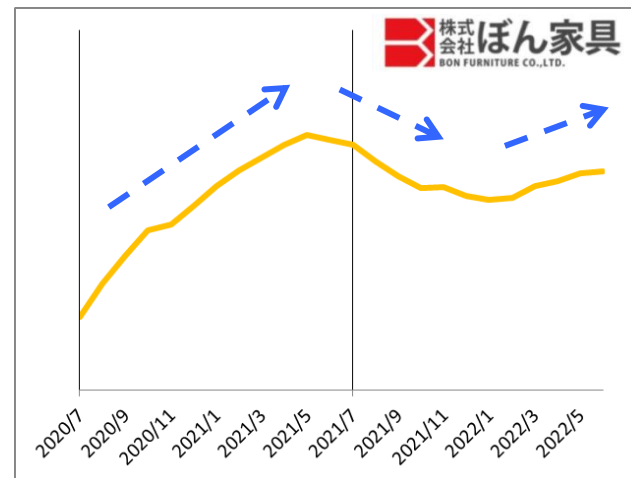
- ・ 現在はロックダウンは解除され影響なし
- ・ 生産・在庫状況も正常化



■ 巣ごもり需要の反動

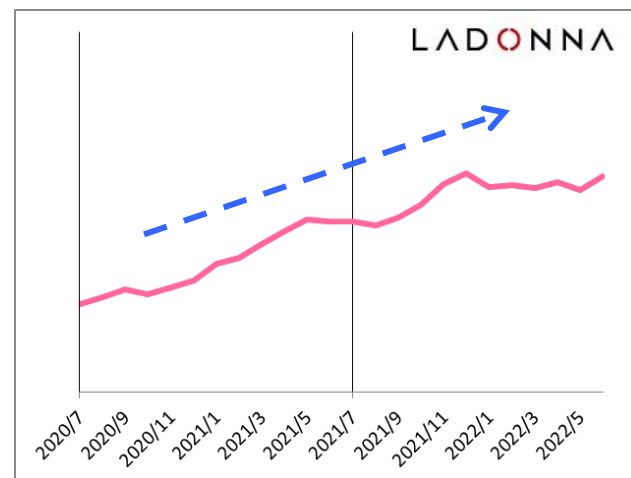
・ ぼん家具

下半期の売上は前期を上回り、
成長軌道へ
収納用品を中心に売上が好調



・ ラドンナ

主力のキッチン家電が
引き続き好調
販路拡大により売上が伸長
(E C店舗の新規開拓)



今後、好調に推移することが見込まれる



■ 為替・原材料の高騰による影響

経費削減や生産性の向上による価格維持に努めてまいりましたが、
自助努力だけで従来の価格を維持することはきわめて困難な状況



<価格改定>

		<値上げ率>
2021年12月21日付	厚型ファイル	平均 約5%
2022年 6月21日付	「テプラ」PRO本体と一部オプション品	平均 約13%
2022年 9月21日付	PPファイル等の商品全般	平均 約13%

価格改定の浸透を図り、収益性の改善を目指す

■ 2023年6月期（第75期）業績予想

（単位：百万円）

	2022年6月期実績	2023年6月期予想	実績予想差額		
売上高	36,636	42,000	+5,363		14.6%増
営業利益	1,007	1,570	+562		55.8%増
経常利益	1,338	1,750	+411		30.7%増
当期純利益	788	1,210	+421		53.4%増

増収増益

ライフオンプロダクツの業績が通年寄与
400億円を突破し、過去最高売上となる見込み

配当性向の基準を40%とし、安定配当を目指す

<一株当たり配当金の推移>

※2022年6月期の期末配当については、1株当たりの普通配当15円を2022年9月15日開催の定時株主総会にお諮りする予定です。

<配当性向推移>

第10次中期経営計画 経営目標

2024年6月期

売上高

480億円

経常利益

34億円

経常利益率

7%

ROE

9%

ファイル依存の収益構造からの脱却



事業領域の拡大

- ・新しい働き方・暮らし方に向けた商品の開発。
- ・紙収納からモノ収納へ。
雑貨や家庭用品の拡充。
- ・M & Aによりグループとして発展。

2021年9月	サステナビリティ委員会発足
2022年3月	キングジムグループ サステナビリティ基本方針の策定
	マテリアリティ（重要課題）の特定
	「環境憲章」を見直し、「環境方針」への改定
2022年12月（予定）	統合報告書発刊

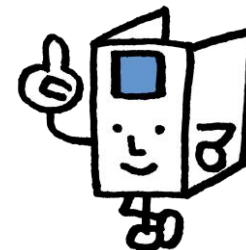
社員のSDGsに対する意識向上の取り組み

- ・勉強会や全員参加の社内キャンペーン、ポスター掲示を実施。
- ・全社員に当社製品「パッタン」コンビニエコバッグを配布。
⇒日々の生活の中でSDGs達成に向けた行動を実践。

サステナビリティへの取り組みの詳細は、当社公式ウェブサイトをご覧ください。

<キングジム公式ウェブサイト>

<https://www.kingjim.co.jp/company/sustainability/index.html>



**キングジムは
仕事と暮らしを快適にし、
「あたらしさ」にこだわり続けてまいります。**

おどろき、快適、仕事と暮らし

